

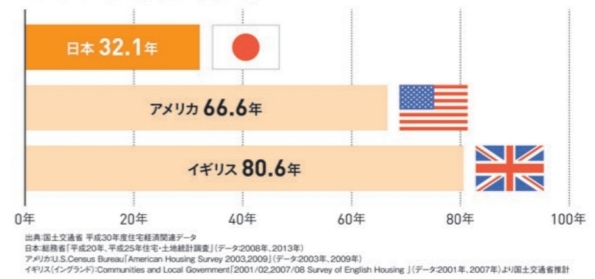
日興ホームの家 長期50年保証システム

日興ホームでは、構造躯体と雨水の侵入を防止する部分について、点検と都度必要な補修工事を行うことで、品確法で義務化された10年間の瑕疵担保責任期間よりも長い、50年保証システムをご用意しております。

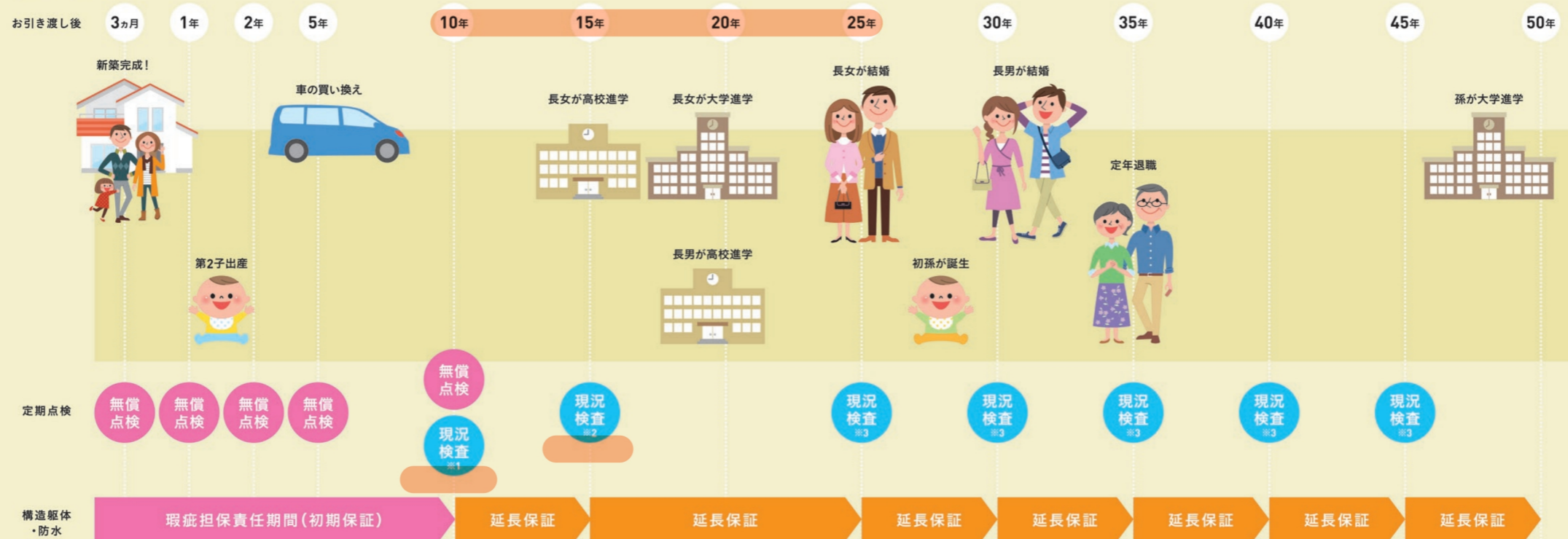
なぜ50年の長期保証が必要なの？

日本の住宅の寿命は平均約30年と言われ、欧米に比べてかなりの短命と言われています。折角のマイホーム…35年のローンを払い終わる前に建て替えになってしまうのでは…？そこで大切なのが**定期的な点検と補修工事**です。定期的な点検を行うことで、何か異常が見つかった場合でも早期に対処することができ、被害や費用を最小限に抑えることが可能になります。日興ホームでは、お施主様のご要望に合わせて最長50年に及ぶ長期に渡って、お客様の住まいをアフターサポート。大切な家族と末永く安心して暮らしていただくために、住まいの品質を保ち続けるお手伝いをします。

滅失住宅の平均築年数の国際比較



【ライフプラン例】



※1…初期保証終了時、5年間の保証延長のため、現況検査が必要となります。また、保険料・検査手数料として32,250円(住宅あんしん保証)・38,200円(ハウスジューメン)が必要となります。(支払限度額2,000万円、延べ床面積100㎡以上125㎡未満の場合) ※2…5年間の保証終了時、10年間の保証再延長には、現況検査と施工状況確認検査が必要となります。原則として下記のすべての修繕工事を実施する必要があります。また保険料・検査手数料として61,050円(住宅あんしん保証)・73,050円(ハウスジューメン)が必要となります。(支払限度額2,000万円、延べ床面積100㎡以上125㎡未満の場合)【以下の施工費用は別途負担していただきます。①屋根仕上げ材の塗装等及び陸屋根・バルコニーのトップコート(保護層)の塗装、②外壁仕上げ材の塗装等、③各部シーリング工事、④雨掛かり木部の塗装】 ※3…25年目以降、5年おきの現況検査+施工状況確認検査と必要と認められる場合のメンテナンス工事にて最長50年保証をいたします。(別途費用がかかります)